

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	茅ヶ崎警察署	階数	地上4F
建設地	茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目994-1	構造	RC造
用途地域	工業地域	平均居住人員	253 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年2月15日
敷地面積	3,828 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社アール・アイ・エー東京支社
建築面積	1,102 m <sup>2</sup>	確認日	2017年2月16日
延床面積	4,161 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社アール・アイ・エー東京支社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	外壁は必要な分の開口部を設け、それ以外の部分は壁面とすることで外皮性能を高めた。外構部には十分な緑化を設けると共に、保水性のある舗装を採用するなど、温熱環境改善のための措置を講じた。	その他 特に無し
Q1 室内環境	執務室にはブラインドを設置し日射遮蔽を図ると共に、照明により執務空間に適切な照度を確保した。	Q3 室外環境 (敷地内) 十分な緑地を確保することで温熱環境の改善に配慮した。また、外観、植栽計画等について「茅ヶ崎市景観まちづくり審議会」の諮問を受け、その意見を取り入れることで周辺環境に配慮した。
LR1 エネルギー	壁面の外皮性能を高めるとともに、電気設備、機械設備において省エネに配慮した機器を用いることで、BPI、BEIとも1.0以下の数値となるよう計画した。	LR3 敷地外環境 建物の高さを低く抑え、卓越風に対する見付面積を小さくすることで敷地外への熱的影響を低減した。
Q2 サービス性能	十分な広さの執務空間を確保するとともに、天井高さ2,700を確保し、将来的な変化に対応できる計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	主要水栓に節水コマを取り付けることで、省水に配慮した。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される